

国土交通省 平成29年度第1回
サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型) 採択プロジェクト

東日本大震災復興支援 東北型省CO₂住宅先導 プロジェクト

美しい小さな家普及会

1 プロジェクト概要

1. 地域に根ざした**大工・工務店と建材流通事業者が連携して、実行性が高い太陽光発電等の創エネ効果に頼らない高い省エネ性能を確保した実効性のある省CO₂住宅建設**を推進する。

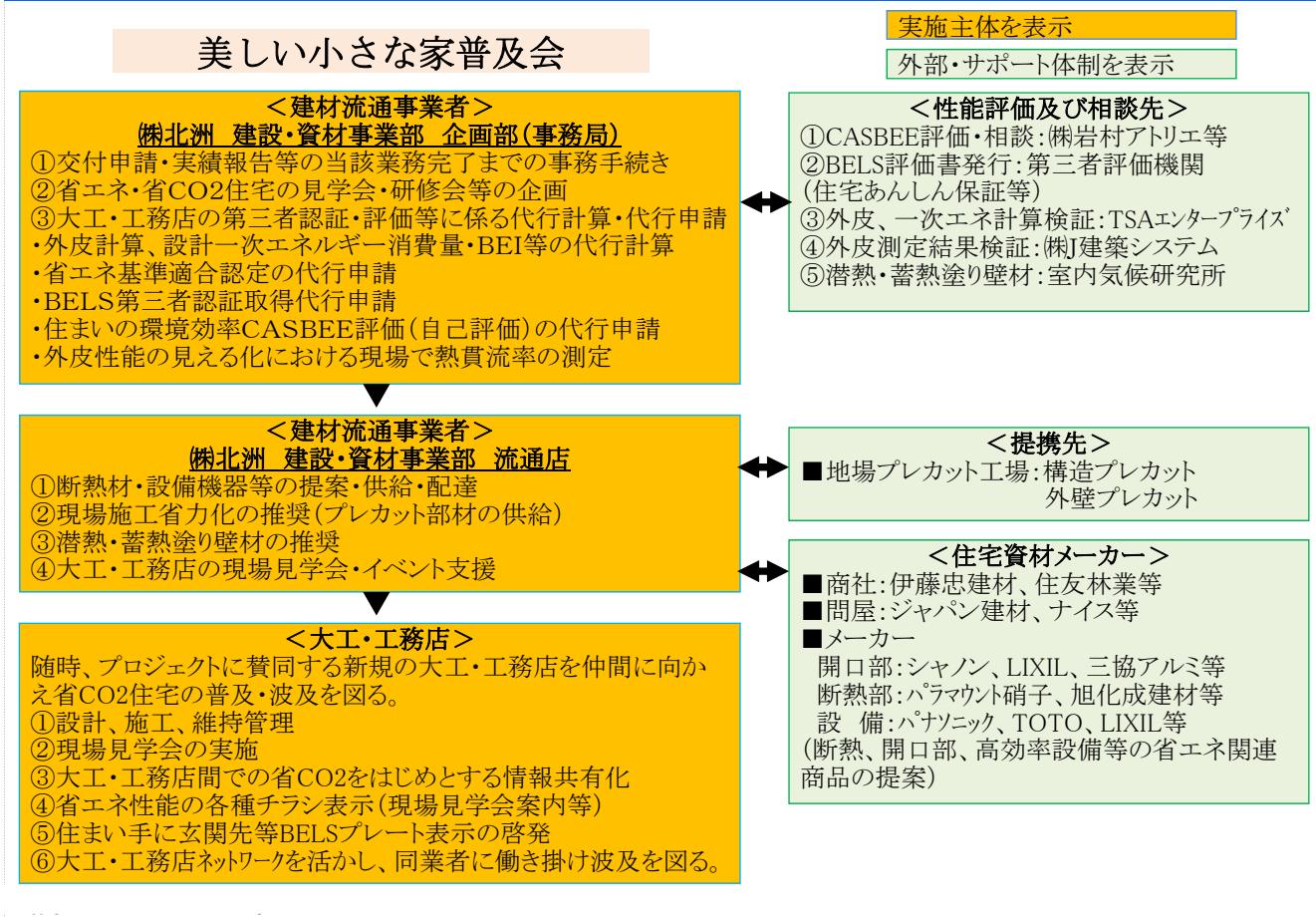
この戸建住宅のプロジェクトは、**実効性・波及性を重視**し、東北各県を対象に東日本大震災の復興支援とともに省CO₂住宅の供給を展開し、普及・波及を目指します。

2. それを普及促進するため、「**美しい小さな家普及会**」を支援組織として立ち上げ、**建材流通事業者が最も身近な大工・工務店に、きめ細かい業務支援等を行い連携した住まいづくり**を推進します。

- ①一次エネ消費量やBEI計算等の省エネ評価の代行サポート
- ②一定の断熱・省エネ性能の提案
- ③大工・工務店が独創性を發揮できる環境づくり

※建材流通事業者が大工・工務店の「面倒・手間」を解消！

2 プロジェクトの実施体制と役割分担



3 提案する住宅の省エネ措置の内容等の特徴

太陽光発電等の創エネ効果に頼らない省エネ性能住宅

- 外皮性能 (ZEH強化UA値: 2地域0.4以下、3地域0.5以下、4地域0.6以下)かつ省エネ率30%以上 (BELS第三者認証取得)
- 住まいの環境効率CASBEE評価 (Aランク以上)を実施した総合的環境効率の住宅 (レジリエンス住宅チェックリスト推奨)
- 外皮性能の見える化: 現場で熱貫流率を測定し数値化、壁U値を確認する。
- 現場施工の省力化: 窯業系サイディングは工場プレカットしたものの持ち込み、外壁の産業廃棄物ゼロの省資源対策を図る
- 建築物省エネ法に基づく認定取得: 「性能向上計画認定住宅又は、低炭素住宅」の認定を取得する。

■断熱性能向上のため3年後の目標値を「HEAT20 G1グレード」に設定して取り組む。

4 導入する省エネ措置等に内容

大工・工務店各社が独自の工法、材料、デザインを採用し、
独創性が発揮できる実効可能な東北型CO2住宅を供給

①断熱・省エネ性能向上

■外皮平均熱貫流率U A値
【ZEH強化U A値基準】

2地域 0.4W/m²·K

3地域 0.5W/m²·K

4・5地域 0.6W/m²·K

■BELS認証

創エネ効果に頼らない
省エネ率30%以上

BELS★★★★★

(0.8≥BEI)

・BELS第三者認証取得

・住まい手に玄関等BELSプレート表示の啓発



②CASBEE評価

- ・環境効率Aランク以上（自己評価）
- ・住まい手へのレジリエンス住宅チェックリストの推奨

③外皮性能の見える化

現場で熱貫流率（U値）を測定し数値化。壁U値を確認する。

※潜熱・蓄熱塗り壁材を採用する住宅を除く。



④現場施工省力化の推奨

外壁の窯業系サディングは施工前に工場プレカットしたものを持込、現場では貼付作業のみ工期短縮を図り外壁の産業廃棄物ゼロの省資源対策を図る
※タイル、鉄板サディングを採用する住宅を除く

⑤建築物省エネ法に基づく認定取得

【省エネルギー計画の概要証明】

性能向上計画認定住宅又は、低炭素住宅の認定通知書を取得する。

潜熱・蓄熱塗り壁材の推奨（内装壁材）

【ヒートショック・疾病・介護予防に寄与】

新素材PCMが一定温度を保とうとする働きで温度変化が緩やかな温熱環境を実現する。

■温熱環境のイメージ

冬：日中の日射熱を吸収し、夜間に放出し、温度低下を抑える

夏：夜間に蓄えた冷機を日中に放出し、温度上昇を抑える。

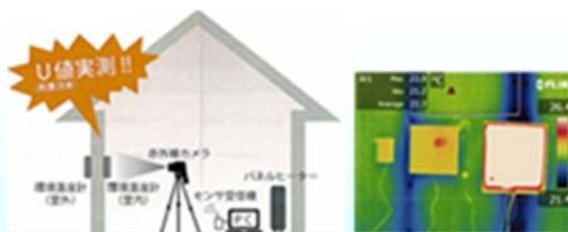


5 その他の特徴的な省エネ・省CO2への取り組み①

1. 外皮性能の見える化

住宅性能は実測値ではなく、設計評価のみというのが現状であり、現場で測定した生データと合わせて評価することが重要です。
現場で熱貫流率（U値）を測定し数値化。壁U値を確認する。

※潜熱・蓄熱塗り壁材（推奨材）を使用した住宅は、熱を蓄える為に熱貫流率を正確に数値化が出来ないために測定しない。）



6 その他の特徴的な省エネ・省CO₂への取り組み②

2. 現場施工省力化の推奨

外壁の窯業系サイディングは、施工前に工場プレカットしたものを持ち込み、現場で貼り付け作業のみ、騒音・粉塵が減り、工期短縮・ごみ低減・現場の美化など外壁の産業廃棄物ゼロの省資源対策を図る。

※タイル・鉄板サイディングは工場でプレカットが出来ないため除く



7 その他の特徴的な省エネ・省CO₂への取り組み③

3. 潜熱・蓄熱塗り壁材の推奨(ヒートショック・疾病・介護予防に寄与)

塗り壁材に含まれているマイクロカプセルに内包された潜熱蓄熱材(PCM)が、室温が上昇すると熱を吸収して融解し、室温が下がると熱を放出して凝固。冬の日射熱を夜間の暖房に活用できたりオーバーヒートを抑えられたりなど、室温を一定時間25°Cに保つ働きをします。

緩やかな温度変化で活動的に。

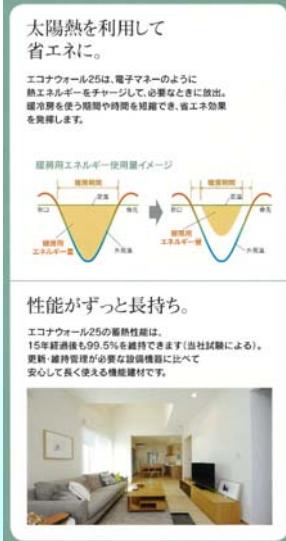
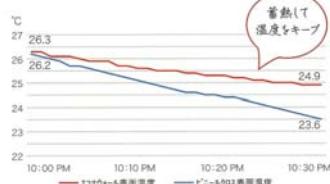
エコナウォール25を使用した住宅の蓄热量は、一般的な住宅の約3倍。
熱を吸収・発散して、一定温度を保とうとする働きでお部屋の温度変化が緩やかになり、活動しやすい温熱環境を実現します。



冬: 日中の日射熱を吸収し、快適な室温をキープ。
夏: 夜間に蓄えた熱を夜間に放出し、温度低下を抑える。
夏: 夜間に蓄えた冷気を日中に放出し、温度上昇を抑える。

ビニールクロス VS エコナウォール25

同じ室内で暖房を切って30分後、壁表面の温度変化の差は1°C以上に。
エコナウォール25は表面温度の変化が少ないので、体感的にも快適です。



8 最後に

このプロジェクトは地域に根ざした大工・工務店と建材流通事業者が連携して、「省CO2」をキーワードに東日本大震災の復興に役立ちたいと願っての取組みです。

着実な住宅建設を通じて、省CO2住宅の普及促進と地方都市への波及と他地域における同様な試みの範となる取り組みを目指します。

ご清聴ありがとうございました。

美しい小さな家普及会